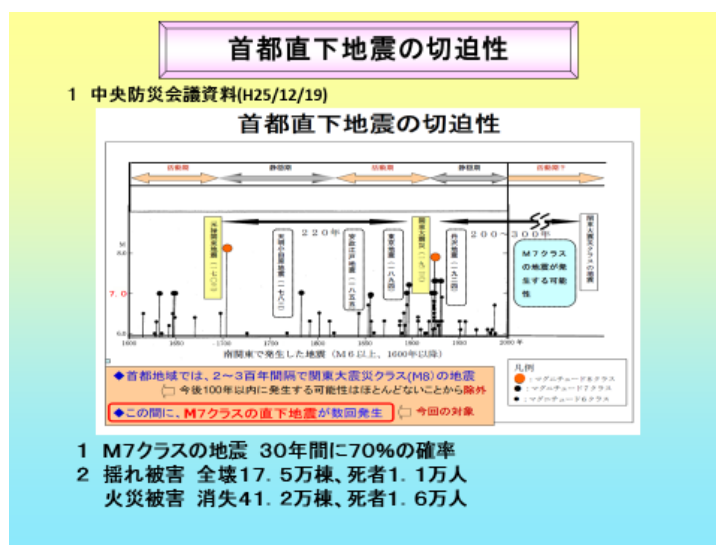


## 山下塾 第6弾

山下 輝男

### 第七話 防災について

#### 1 首都直下地震の切迫性



上図で明らかなように、首都圏では、周期的に大規模地震が発生している。中でも1923年の関東地震（関東大震災・マグニチュード (M) 7.9）では、我が国の震災史上最悪の約10万5,000人が犠牲になり、全壊・全焼・流出家屋が29万3,387棟に上った。江戸時代には1855年の安政江戸地震 (M6.9) で7,000人以上、1703年の元禄地震 (M8.1) で1万人以上が犠牲になった。

#### ○被害想定

経済被害は約112兆円

避難者 最大約700万人

帰宅困難者約650万人

ライフライン 電力:約160万軒、上水道約1100万人、ガス約120万軒等

その他 超高層ビル火災、二次災害、道路閉塞による活動阻害、パニック、治安悪化等

#### ○被害軽減策

基本は、災害に強い社会の創造

- ・耐震化が急がれる木造住宅密集地帯
- ・電気器具による出火の防止と初期消火
- ・防災訓練 (シェイクアウト)

#### 2 大震災の比較

## 大 震 災 の 比 較

	関東大震災	阪神淡路大震災	東日本大震災
生起年月日	T12. 9. 1	H7. 1. 17	H23. 3. 11
地震	M7.9 相模湾北西沖 大正関東地震 最大震度7(小田原)	M7.3 淡路島北端部 兵庫県南部地震 最大震度7(神戸市等)	M9.0 宮城県男鹿半島沖 東北地方太平洋沖地震 最大震度7(栗原市)
死者・行方不明者数 と死者内訳	10.5万人 87%が焼死	6440名強 84%が圧死	1.9万人 91%が溺死
建物被害	全壊 10.9万戸 全焼 21.2万戸	全壊 10.5万戸 全焼 7千戸	全半壊 38万戸以上
政治状況等	総理急逝臨時代理 流言飛語	自社連立政権 ボランティア元年	民主党政権 地震津波原発事故の広 域複合災害
自衛隊の災害派遣 実績	陸海軍約10万人が 治安維持や救援活動 に従事 外国軍隊の支援も	延べ225万人	延べ1,058万人 米軍TOMODATI作戦
ボランティア数	東京帝大生	約150万人	190のボラセン設置 93万人(社協把握分)

上図の通り、我が国では大震災と称されるものが3回起きている。

興味深いのは、それぞれの大震災の死因別死者数である。それぞれの大震災の特性を如実に示している。

首都直下型地震は、関東大震災と阪神淡路大震災の複合的被害になるだろう。建物の耐震化と火災対策が急務である。

### 3 防災の基本

#### 防 災 の 基 本

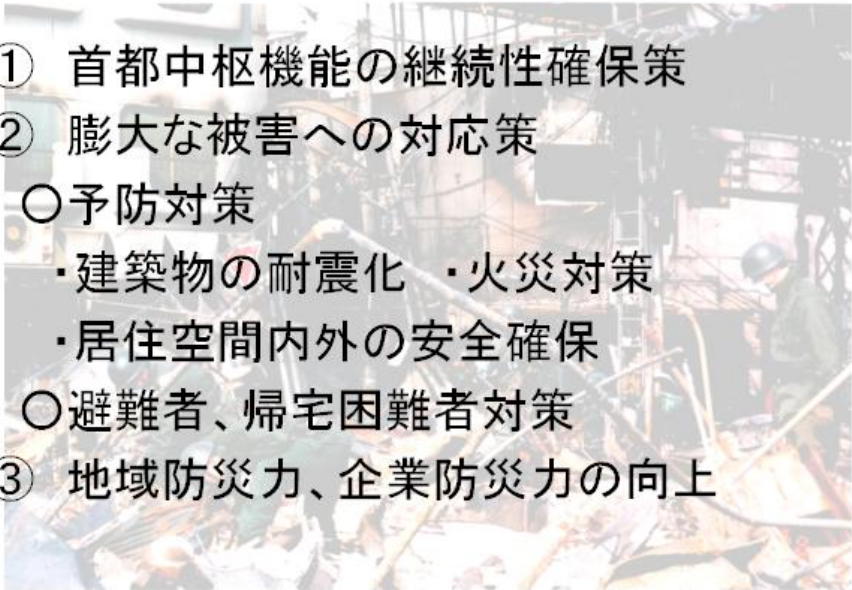
- **自助**: 自らの命は自ら守る
- **共助**: 我が街は自分達で守る
- **公助**: 公的機関により守る

国民運動、3助の総合力、行政とのコラボ

自助:共助:公助=7:2:1

#### ① 首都直下地震対策の基本的事項

防災の基本を説明する前に首都直下地震対策の基を押さえておきましょう。

- 
- ① 首都中枢機能の継続性確保策
  - ② 膨大な被害への対応策
    - 予防対策
      - ・ 建築物の耐震化
      - ・ 火災対策
      - ・ 居住空間内外の安全確保
    - 避難者、帰宅困難者対策
  - ③ 地域防災力、企業防災力の向上

### ② 防災の基本

阪防災の基本は何かを考えてみたい。自助と共助と公助の3つの助の総合力で防災を達成することになる。キーワードはこの自助・共助・公助である。

国や地方自治体が地震被害想定を行うのは、災害への対策を具体的に講じるためであり、具体的には、都市人口の抑制や分散化によって適正化を図り、建物や道路・橋などの耐震化を行う。このような公の判断による災害対策を「公助」と云う。

一方、国民一人一人が自分の判断とお金で対策を行って助かることが「自助」、地域や職場、家族でお互いが助け合うのが「共助」である。

首都圏で大震災が発生すると、発災から数日間は公助が期待できない。阪神・淡路大震災でも倒壊した住宅から生還した人の8割は自分で這い出したか、近所の人に救助された。即ち、自助と共助によって助かった。

自助の重要性は強調しても強調しきれない。大規模な災害になればなるほど、各々の個人的努力が重要となり、自助7割と云われる。自らの命は自らが守り、地域で助け合って命を守る。それで足りないところを公に期待する。

### ③ 共助

一旦緩急あった場合における隣近所での助け合いをしようとの風潮がなくなってきたのではないだろうか？ 遠くの親戚より、近くの他人とも言われるように、何かあった場合に頼りになるのはお隣さんである筈だ。

「共助」というのは正にそのことである。共助を担うのが、自主防災組織である。

### ④ 自助として為すべき事項

## 自助の為に何を！

- ①住宅の耐震補強、家具の固定等の被害軽減策
- ②非常持ち出し品の用意
- ③最低3日分の食糧や水の備蓄
- ④避難場所や避難経路の確認等の災害への備え
- ⑤被害の様相や影響等を事前習得
- ⑥初期消火の実施、車での避難せず等の適切な行動

### 知行合一の実践

「一日前プロジェクト」って知っていますか？

(“明日被害に遭うとすれば、今日 何をするか”を被害者に聞き取り)



(了)

キーワード▶ [公助](#)・[共助](#)・[国家戦略](#)・[地震](#)・[安全保障戦略](#)・[山下塾](#)・[山下塾第6弾特別編](#)・[自助](#)・[自衛隊](#)・[自衛隊の任務](#)・[自衛隊の活動](#)・[自衛隊の行動](#)・[防災](#)・[防衛省](#)・[首都直下地震](#)

いいね！ 1

INDEXへ戻る

次の記事 [山下塾第6弾 第八話 平和安全法制等について](#)

前の記事 [山下塾第6弾 第六話 日本の国家戦略と安全保障戦略（その3）](#)

[ページの先頭へ](#)

関連サイト

[防衛省](#)

[統合幕僚監部](#)

[陸上自衛隊](#)

[海上自衛隊](#)

[航空自衛隊](#)